



修学旅行

先週末まで雪が残っていた神河町から南国の沖縄 & 与論島への修学旅行。今年度から1〜2月の4泊5日となりました。インフルエンザなどの心配もありましたが、41回生全員が参加できました。



1日目 沖縄南部戦跡 平和学習

事前学習で71年前の沖縄での出来事を学び修学旅行に臨みましたが、生徒たちにとっては、戦争の悲惨さは想像以上だったようです。ひめゆり平和祈念資料館での彼らの表情は真剣でした。



その後、平和祈念公園の『平和の礎(いしじ)』に行き、沖縄戦で亡くなられた方へ千羽鶴を捧げ、黙祷を行いました。また、兵庫県出身で亡くなられた方の名が刻銘されている『のじぎくの塔』へも千羽鶴を捧げました。兵庫からも多くの方が戦争に参加され、そして命を落とされていきました。決して遠くの地の出来事ではないと実感しました。



2日目 与論島上陸

2日目、いよいよ与論島に上陸。これまで乗ったことのない大きな船での移動なので、生徒たちのテンションは高め。しかし、船の揺れは予想以上でダウンする生徒もちらほら。しかし、与論島に上陸したら、完全復活！

世界一美しい海で マリン体験

楽しみにしていた『世界一美しい海』でのマリンスポーツ体験。若干肌寒い気温ではありましたが、生徒たちはそれを感じさせないほど元気一杯で、限られた時間の中で思いっきり楽しんでおりました。

グラスボートのメンバーは百合ヶ浜にも上陸でき、さらにはその帰りに、二匹のウミガメが私たちを歓迎してくれました。魚釣りを体験したメンバーは、沖縄の代表的な魚、グルクンを大漁に釣りました。家庭によっては、釣れたてのグルクンをから揚げにしてもらって、南国の味を堪能しました。



3日目 民泊体験 レポート

2日目に続いて、家庭ごとに様々な体験をさせていただきました。キビ刈り、菜園や果樹園の手入れ、南国の工芸品作り、サーターアンドギーを自分たちで作って食べていた家庭もありました。



また与論島の観光名所にも連れて行ってもらい、生徒たちにとっては大満足の民泊体験となりました。



ちょっと一言 ◇沖縄での修学旅行では「平和学習」が大きなテーマとなっています。41回生諸君は、「ひめゆり平和祈念資料館」と摩文仁の丘の「平和の礎」を訪れ、約70年前にここで何が起こり、いかに多くの方々が亡くなったのかということを経験した。特に、あまり知られていない兵庫県関係者の慰霊塔である「のじぎくの塔」を訪ねたことには大きな意味があり、来年以降も続けていきたいと思えます。(H. H.)